

和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

担当者

森林技術指導官:萩原 敏郎

地域林政調整官:藪本 博文

TEL:050-3160-6120

地域課題:民有林への低コスト造林の普及

取組状況

にしのこう

- 西ノ河国有林において、民有林行政担当者、林家、種苗組合等を対象に低コスト造林現地検討会を実施。
- 和歌山県低コスト造林技術研究会へ参画し、灌水チューブ苗の植栽試験に参加。

成果と今後の課題

- 低コスト造林のメリット等をPR。実証データを蓄積し、民有林関係者に提示するため、今後、継続したデータの収集・蓄積を実施。
- 和歌山県低コスト造林技術研究会は、植栽データのまとめ・追跡調査を実施。
- 今後、和歌山県低コスト造林技術研究会において、安定的なコンテナ苗の生産に向け、民有林森林所有者への理解・協力の推進及び苗木生産者への設備投資に係る補助等を検討。

低コスト造林現地検討会の様子



低コスト造林技術研究会の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:架線集材の低コスト化、作業システムの構築

取組状況

- 経営モデル林を設定し、地形を考慮した作業道作設による集材と架線集材の併用を検討。
- 先進的林業機械緊急実証・普及事業運営委員会へオブザーバーとして参画し、架線技術の継承、低コスト化を検討。また、現地検討会へ参加し、先進的な架線集材機による作業システムの改良について情報を収集。

成果と今後の課題

- 経営モデル林検討会で検討した集材作業システムについて、今後、技術やフィールドの提供を実施。
- 様々な集材作業システムの情報を収集。今後、更に地域にあった低コスト化を検討。

経営モデル林候補地選定の様子



先進的林業機械緊急実証・普及事業現地検討会の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:病虫害対策(カシノナガキクイムシによる被害拡大の防止、スギノアカネトラカミキリ被害木の利用促進)

取組状況

- 国有林のナラ枯れ被害状況を把握し、和歌山県との会議等の場において、情報提供を実施。
- 和歌山県主催の「平成25年度和歌山県林業試験場成果発表会」に出席し、スギノアカネトラカミキリ被害材(アカネ材)の利用について情報収集を実施。

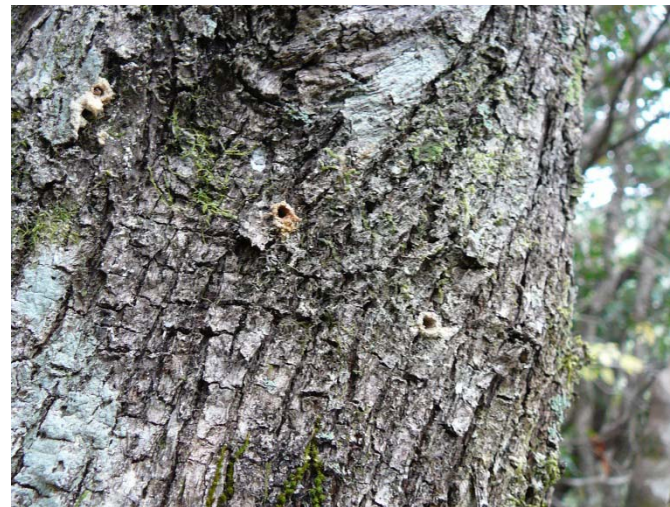
成果と今後の課題

- 被害情報の共有により、民国双方の対応策を確認。国有林については、引き続き、被害状況の把握、情報共有を行うとともに、民有林と連携して拡大防止対策を検討。
- アカネ材の利用促進に向け、引き続き、連携・協力のための情報収集を実施。

カシノナガキクイムシ



カシノナガキクイムシの穿孔の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:ニホンジカ被害対策

取組状況

- 国有林内において、ニホンジカの被害状況を確認。
- 西ノ河林木遺産資源保存林において、シカ防護柵(パッチディフェンス)の設置及びモニタリング調査(植生調査)を実施。

成果と今後の課題

- パッチディフェンスの設置により、シカ被害による森林の下層植生の減少を防止。また、後継樹を含む下層植生の現況を把握し、今後の森林の保全・管理に向けた対策を検討。
- 適正な個体数管理に向け、今後、個体数の把握を検討。

パッチディフェンス設置前



パッチディフェンス設置後



林分の状況



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:林地残材の有効活用

取組状況

- 和歌山県との連絡会議において、林地残材の有効活用について検討を開始。併せて、民有林の架線集材現場において、林地残材の発生状況を確認。
- 林地残材等のバイオマス利用について、生産・販売等の事業者発掘に向けた情報収集を実施。

今後の課題

- 全木集材による事業では、土場敷に集積された末木枝条・端尺の有効活用を検討。
- 林地残材等のバイオマスを活用した事例の収集、情報提供を行い、木質バイオマス施設の設置等について、和歌山県等の関係機関への働きかけを検討。

集造材作業の様子



作業後の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県ほか

地域課題:森林・林業の活性化

取組状況

- 地域林政連絡会議を開催し、民国連携による森林整備事業候補地について検討を実施。

成果と今後の課題

- 作業道、高性能林業機械を組合せた事業の効率化、中間土場への木材の集積及び大ロット輸送、コスト削減による収益増を目的とした「産学官森林経営協働プロジェクト」(県、京都大学、マルカ林業)について、隣接する日光山国有林、津俣国有林との連携を検討。

地域林政連絡会議の様子



津俣国有林の遠景



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県、田辺市

地域課題: 民有林直轄治山事業の推進

取組状況

- 平成23年の紀伊半島大水害に係る民有林災害箇所への復旧工事を実施。
- 和歌山県田辺市の地域住民へ説明会を実施。

成果と今後の課題

- 和歌山県、田辺市と連携を図りながら、復旧工事に着手。(平成24年度補正予算、平成25年度予算:6区域、延べ8箇所)
- 田辺市の協力により、田辺市中辺路行政局内へ紀伊田辺治山事業所を開設。
- 住民説明会において、住民から寄せられた要望や不安の解消を図り、地域の協力、理解が得られた。

災害復旧工事(田辺市本田垣内区域)の様子



開所式の様子

